

令和8年9月1日

関係の皆様

京都府立大学長

令和9年度の地域貢献型特別研究（ACTR）について

平素、京都府立大学の教育・研究活動に御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学が実施する「地域貢献型特別研究（ACTR）」につきましては、令和8年度から研究に要する経費の一部を「協力金」として拠出いただく方式に変更させていただきましたが、その旨の御案内が年末となってしまう、事務処理に支障を来した例も散見されました。

令和9年度は、令和8年度と同じスキームで実施する予定でありますことをお知らせします。

つきましては、テーマ提案に向けた積極的な御検討をお願いいたします。

1 実施内容

下表のとおり、研究費に対して提案者から協力金を拠出いただくスキームで続行する。

	令和8年度	令和9年度
提案者拠出	1 / 4	同左
取り扱い	申請上限額 200 万円の 1/4 にあたる 50 万円を上限とし採択された研究費の協力金として拠出いただく	同左

※令和9年度の予算決定前であることから、今後の予算協議の状況によっては、本スキームの取扱いについて変更となる場合があります。

※令和10年度以降の実施内容については令和9年度の状況を踏まえ検討いたします。

※協力金は提案者から京都府立大学に納付いただき ACTR 研究費に充当します。

2 提案者から協力金を拠出いただく背景や理由等

○地域と大学の「共創」の一層の強化

これまで以上に地域と大学が「共に協力し、共に成果を生み出す」関係を強くすることを目指すとともに、拠出いただくことで、より深い連携と責任感を生み出したいこと。

○研究の質とスピードの向上

拠出いただくことで、研究結果に対してより成果を意識することに繋がり、必要な調査や実験を迅速に進め、課題解決に向けた実効性の高い成果を生み出すこと。

○持続可能な仕組みの構築

大学の財政状況に全てを依存せず、地域協働で支える仕組みを整えることで地域貢献型特別研究を持続可能なものとしていくこと。

担当	京都地域未来創造センター（KIRP） 事務局企画・地域連携課 TEL：075-703-5390 E-mail:kikaku@kpu.ac.jp
----	--